

令和3年度公開研究授業を開催しました。

令和3年12月6日（月）午後、令和3年度公開研究授業を開催しました。

今年度の公開研究授業のテーマは、「ICTを活用してコンピテンシーを具体的にどう育てるか？」として行いました。

このテーマは、3カ年で本校が取り組んでいる、

① タブレットを積極的に活用する「ICTを活用した授業づくり」

とともに、

② 新しい学習指導要領に基づいた「コンピテンシー・ベースの授業づくり」

について、豊かな「学びの場」を持ちたいという願いから設定したものです。

当日は、「コンピテンシー・ベースの授業づくり」のうち、生徒のコンピテンシーをどのように評価するかという視点で数多くの実践事例を蓄積されている株式会社ベネッセコーポレーション 学校カンパニー『VIEW next』編集部 統括責任者・編集長 柏木 崇（かしわぎ たかし）様にも御来校いただき、公開研究授業に係る御示唆と学習評価に係る御講演をいただきました。また、校外からも20名の先生方及び関係者の方々に御参加いただきました。

今年度の研究授業は、新型コロナウイルス感染症対策を確実にしながらも、アフターコロナを見据えた臨場感のある公開研究授業を行うため、本校教職員・校外参加者には実際に教室に足を運んでいただき、教室で授業を観察していただきました。また授業公開教科も、本年度は5教科で実施しました。特に、事前の打ち合わせを通じて、「思考力・判断力・表現力」を各教科で評価するためにパフォーマンス課題及びループリックについて、各教科で設定しての授業を行いました。

	教科	科目	学年	授業（単元）テーマ	授業者
1	国語科	古典 B	2	『源氏物語』若紫のことばとところ —対話的に心を読み解く—	教諭 森岡 綾子
2	地歴・公民科	地理 B	2	資源・エネルギーをめぐる課題 —インドの電力問題を例として—	教諭 前田 智子
3	数学科	数学 A	1	図形の性質 —対話を通して思考を深める—	教諭 高市 浩平
4	理科	化学	3	ジグソー法を活用した知識・技能の 活用と定着	教諭（教育情報部主任） 西村 由
5	外国語科	コミュニケーション英語 I	1	英語を通して味わう「Haiku」 —異文化の中の日本文化—	教諭 廣永 智子

公開研究授業の様子

数学



英語



地歴公民



国語





また、授業後には各教科で研究協議を行いました。

各協議の場では、本校生徒の ICT を活用した思考や表現の場での「慣れ」を感じさせる積極的な活動に、外部参加者から「日常的な取組が行われていることがうかがえる」という感想や、「生徒が教材の工夫によって、徐々に思考を深めていることが見て取れた」という感想が多く寄せられました。また、「思考・判断・表現」を、何を用いてどう評価するかという点については、参加者も苦悩している点であるため、積極的な質問や意見交換が行われました。

研究協議の様子



公開研究授業及び研究協議後には、株式会社ベネッセコーポレーション『VIEW next』編集長の柏木 崇 様より「新学習指導要領で求められる学習評価の充実」と題し、コンピテンシー・ベースの学習において、生徒の活動をどのように評価するのか、全国の具体的な事例をもとに御講演をいただきました。

参加者からは、「要点をわかりやすく整理していただき、わかりやすい講演だった。これまでわかりにくかったことが整理できた」というご意見や「実例に基づいて様々な方法を御紹介いただき、大変参考になった」という御意見をいただきました。

学習評価に係る研修会の様子



なお、今回の公開研究授業にあたって、本校が全学年で導入しているスタディサプリを「反転学習」としてどのように活用するかに関する実践例について、(株)リクルートの岩崎 有里 様よりご提供いただきました。

今後、マスタールーブリックにも掲げられている「思考力・判断力・表現力」について、具体的活動（パフォーマンス課題等）と評価指標（ルーブリック）を全職員が実際に作成し実践すること

で、全職員が新学習指導要領に準拠した指導と評価を行えるよう、経験を積み重ねていく予定です。